

# 2023 年度 第 26 回日本知的障害者選手権水泳競技大会 要項（更新版） （WPS 公認大会 予定）

◇目的 ①知的障害者の心身における健康維持・増進とともに広く社会参加への促進を図る。  
②知的障害者における水泳の普及・振興に寄与するとともに、競技力向上を図る。  
③知的障害者への理解啓発と福祉の向上に資する。

◇大会名 2023 年度 第 26 回日本知的障害者選手権水泳競技大会

◇主催 (一社)日本知的障害者水泳連盟

◇主管 (一社)神奈川県水泳連盟

◇後援 スポーツ庁 神奈川県 横浜市健康福祉局  
独立行政法人 日本スポーツ振興センター  
(公財)日本水泳連盟 (公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会  
(公財)日本知的障害者福祉協会 (公社)東京都障害者スポーツ協会  
(一社)日本スイミングクラブ協会 (一社)全日本知的障がい者スポーツ協会  
(一社)日本パラ水泳連盟 (一社)日本デフ水泳協会  
(社福)横浜市リハビリテーション事業団

◇協力 東京YMCA社会体育・保育専門学校

◇期 日 2023 年 7 月 2 日(日) 7:30~18:00 (予定) 開門・受付 7:30  
ウォーミングアップ 7:45~ (予定)  
開会宣言 9:20  
競技開始 9:45  
閉会宣言 18:00

◇会 場 横浜国際プール(長水路 50m プール, 水深 1.6m)  
〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1

◇競技方法 競技は、種目別・クラス別、男女別に行い、タイムレース決勝とする。  
予選が 3 組以上行われる男女 50m 自由形・100m 自由形は予選と決勝を行う。  
但し、参加人数により、合同レースを行う場合がある。  
年齢による競技区分は行わない。

◇競技規則 世界パラ水泳連盟(WPS)・2023 年度日本水泳連盟競泳競技規則に準じて行う。

◇競技種目	自由形	50m	100m	200m	平泳ぎ	50m	100m	200m
		400m	800m	1500m	バタフライ	50m	100m	200m
	背泳ぎ	50m	100m	200m	個人メドレー	200m	400m	
	フリーリレー		200m		メドレーリレー		200m	

◇競技順序 別表のとおり  
競技の組み方は、ダウン症選手のクラス、知的障害選手・デフの選手のグループに分ける。

◇標準記録 別表のとおり 知的障害選手・ダウン症選手・デフ選手は、同一の標準記録とする。

◇表彰 ①各種目、各障害区分、男女別 1 位~3 位にメダルを授与する。  
但し参加者が 3 名の場合は 1~2 位、1 名又は 2 名の場合は 1 位のみメダルを授与する。  
②参加者全員に記録証を発行する。

◇参加資格 **<日本知的障害者水泳連盟登録者>**

以下の①～⑥に該当する者のみ参加できる。

- ① 2023 年度日本知的障害者水泳連盟へ「選手登録」が完了している者。
- ② 療育手帳を所持している者。**※申請中の選手は医師の診断書を提出すること。**
- ③ 2023 年 4 月 1 日現在、中学生以上の者。
- ④ 医師の健康診断又は保護者の申告に基づき、健康上問題が認められない者。
- ⑤ 以下の水泳競技大会のいずれかにおいて別紙標準記録を突破している者。

**ただし、2023 年度新規登録選手はその限りではない。**

**【2022 年度】**

- 2022 ジャパンパラ水泳競技大会
  - 第 25 回日本知的障害者選手権水泳競技大会
  - 第 33 回九州障がい者水泳選手権大会
  - 横浜国際プール第 1 回インクルーシブ水泳競技大会
  - 2022 東北パラ水泳選手権大会
  - 2022 年通信記録会(日本パラ水泳通信総合記録会)
  - 2022 年度中部記録会
  - 第 25 回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会
  - 秋季東北水泳記録会
  - 第 43 回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会
  - 第 22 回全国障害者スポーツ大会
  - 第 39 回日本パラ水泳選手権大会
  - 第 12 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会
  - 第 6 回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会
  - 2023 日本パラ水泳春季チャレンジレース
  - 2022 年 4 月 1 日以降に開催された WPS 公認大会
- ⑥ 2022 年度に開催された(公社)日本水泳連盟公認水泳競技大会において別紙標準記録を突破している者。ただし、各種マスターズ協会の主催大会は認めない。
- \* 参加資格⑥を適用の場合は記録を確認できる書類を本連盟に FAX(03-6229-5420)もしくは、メール([mousikomi@jsfpid.com](mailto:mousikomi@jsfpid.com))にて添付して送信すること。
- ⑦ その他、連盟が認めた選手

**<日本デフ水泳協会登録者>**

- ① 日本デフ水泳協会の会員であること。
- ② 医師の健康診断又は保護者の申告に基づき、健康上問題が認められない者。
- ③ 以下の水泳競技大会のいずれかにおいて別紙標準記録を突破している者。

**【2022 年度】**

- 第 25 回日本知的障害者選手権水泳競技大会
- 2022 ジャパンパラ水泳競技大会
- 第 39 回日本パラ水泳選手権大会
- 第 16 回日本デフ水泳選手権大会
- 2023 日本パラ水泳春季チャレンジレース
- 第 43 回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会
- 第 6 回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会
- \* 2022 年 4 月 1 日以降に開催された日本水泳連盟公認・公式大会
- \* 2022 年 4 月 1 日以降に開催された日本マスターズ協会公認・公式大会
- (\*の大会は、申込締切期日までに終了し、必ず記録の証明ができるものとする。)

◇新型コロナウイルスに関する対策

- ① この大会は有観客で行う。
- ② 感染対策については、当連盟ホームページにて案内する。

- ◇参加制限 別紙標準記録を突破している種目のみ1人2種目以内とする。  
**WPSライセンス登録をしている選手は、3種目までエントリーが可能。**  
但しリレー種目はその限りでない。  
※リレー種目は団体登録（クラブ）対抗とし、各種目1団体につき  
**1チームとする(男女混成可)**
- ◇参加費 1種目 2,000円（保険料含む）  
別紙標準記録を突破している種目のみ、2種目までエントリー可。  
リレーは1種目(1チームのみ) 2,000円  
プログラム費 1冊 800円  
大会協力金 1口 1,000円  
**※複数口も可能です。是非ご協力をお願いいたします。**
- ◇申込方法 日本知的障害者水泳連盟のホームページをご確認すること。  
デジエントリーでの申込となる（申込マニュアルをご確認）。  
なお、インターネットからエントリーが行えない方、インターネット環境がない方、  
苦手な方は電話によるエントリーも可能。ただし、別途費用が掛かる。  
※オペレーター応答による代行エントリー TEL：0466-52-5448（平日 10:00～17:00）  
**※その他、競技に関する問い合わせは、日本知的障害者水泳連盟へ連絡すること。**
- ★申込締切日 2023年5月21日(日) 23:59**
- デフ水泳協会登録の選手は、直接デジエントリーで参加申請を行わず、デフ水泳協会  
担当者(鈴木)へ確認をすること。
- ◇水着規程 本大会の着用水着は、世界水泳連盟（World Aquatics）が公認した水着とする。  
(FINA マーク)
- ◇監督者会議 7月2日(日)9:00～プールサイドで行う。  
競技会の注意事項等がありますので、**責任者の方は必ずご出席ください。**
- ◇免責事項 参加者は主催者側で傷害団体保険に一括加入するが、大会中に生じた事故等にたいして大会本  
部は応急処置を行う。その後の処置等については、各自の判断で医師の診断を受けること。し  
たがって参加者は自己の責任において健康と安全に充分留意すること。
- ◇前日練習 7月1日(土) 13:00～16:00 大会会場メインプール(使用料無料)  
\*(一社)日本知的障害者水泳連盟貸切りとなります。  
\*飛込練習レーンを設けます。使用レーンは役員の指示に従うこと。  
\*利用する際は3階メインプール出入口に設置の大会受付にて  
知的障害選手とダウン症選手は、2023年度の選手登録カードを提示し入場すること。  
デフ選手は、受付で「日本デフ水泳協会」であることを伝え、入場すること。  
\*団体及び個人の責任者は**プールの利用規則**に従って事故のないように注意し実施すること。
- ◇その他 ①出場決定後に納入された参加料等は原則返金しない。  
大会を中止する場合はHPにてお知らせする。  
②ADカードは当日配布する。  
③宿泊先の斡旋は行わない。  
④昼食は各自用意すること。  
⑤ゴミは各自で持ち帰ること。  
⑥本大会の成績は国際大会代表選手選考資料の一部とすることがある。

◇ 大会の問い合わせ先

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

2023 年度第 26 回日本知的障害者水泳選手権水泳競技大会事務局

FAX 03-6229-5420

メール [mousikomi@jsfpid.com](mailto:mousikomi@jsfpid.com)

\* 日本デフ水泳協会の選手は、協会担当者(鈴木)を通して問い合わせること。